

工賃向上計画セミナー I 開催される

…7月31日（水）長野県安曇野庁舎

令和6年7月31日（水）、長野県安曇野庁舎講堂に於いて、工賃向上計画セミナー I が開催されました。はじめに、長野県健康福祉部障がい者支援課の宮嶋風太様より「長野県における工賃向上の取り組みについて」という内容でお話をいただきました。令和5年度の長野県平均工賃月額実績は計算方法が変わったこともあり、前年度から6,000円近くも上回り22,858円であると発表されました。

そのあと、伊那食品工業株式会社のグループ会社である有限会社ぱぱな農園取締役の青木一夫様から「より良い組織づくりのために」というテーマで講演をいただき、そのぱぱな農園の農作業を受けている駒ヶ根にある伊南桜木園の中村健一様より「ぱぱな農園との農福連携の取り組み」について発表していただきました。発表の後は、8グループにわかれて、セミナーから得た学びや工賃向上に関する悩みなどを話し合いました。

工賃向上について参加者から出た意見（一部）

- 一般の人の最低賃金が上がっているのに、障がい者の作業単価が安い。受託作業などについて、標準単価など、何かしらの取り決めを作ってほしい。
- 職員が作業の大半を担っていることが多く、支援か納期かで矛盾することが日常にある。
- ある作業が得意な職員が辞めてしまうと、その作業をやらなくなってしまうことがある。
- 工賃向上も重要だが、必ずしもそれを求めている場合もあるのではないかな。
- 利用者が屋外作業に行きたくなるような声かけをしている。
- 施設外作業は地域とのつながりが持てるのがよい。



午前中は令和6年度第1回ブロック長会議

7月31日の午前中は、同じく安曇野庁舎講堂で、第1回ブロック長会議が行われました。各ブロック長が地区の活動について報告をし、コーディネーターからアドバイスを受けながら、ナイスハートバザールの計画など積極的な話し合いを持つことができました。

自主製品を持たない施設も、地域福祉の一環としてさまざまな形でナイスハートバザールに関わっていけるのではないかな、という意見も出ました。

スポットライト

会員事業所紹介コーナー

東信ブロック

(社福) 立科町社会福祉協議会
たてしなふれ愛園
北佐久郡立科町芦田 2525 番地 1
Tel : 0267-56-3721

たてしなふれ愛園は、立科町にある障がい福祉サービス事業所です。現在、就労継続支援 B 型事業所に 15 名、生活介護 9 名の方が利用登録されており、多くの利用者さんが日々、生産活動や受託作業等に取り組みられています。



ふれ愛園作業の様子



わら馬づくり



乾燥野菜



油すっすうちゃん



長野市中御所字岡田 98-1
長野保健福祉事務所庁舎 1 階
TEL 026-291-8280
Fax 026-291-8290
Mail nselpl@ebony.plala.or.jp

NPO 法人
長野県セルフセンター協議会

取り扱い製品

薪*わら馬(ストラップ)*雑巾*アクリルタワシ*えごま油*石けん*野菜*乾燥野菜等を販売しています

販売店

主に、立科町の女神湖センター、牛乳専科もうもう、めがみの里(道の駅)で販売をしており、えごま油は道の駅ヘルシーテラス佐久南でも購入できます。

製品紹介

わら馬:全ての工程をお一人の利用者さんが行っています。開運の駒としても人気です。

乾燥野菜:当園で収穫した野菜を使用して乾燥野菜を作っています。販売会などでの出店で人気のある製品です。

えごま油:当園で育てたえごまを使って油にしたものを販売しています。購入される方が徐々に増えてきています。

薪:焚き付け用、ストーブ用を販売しており、町内外への配達も行っています。

油すっすうちゃん:回収した牛乳パックを再利用し、手作業で油取りパックにしています。サイズは大(天ぷら)小(フライパン)と 2 種類販売をしています。

関東社会就労センター協議会研究大会

10月21日(月)、22日(火)に埼玉で開催

昨年は静岡県三島市で開催された関東社会就労センター協議会研究大会ですが、今年は「あの頃の未来とこれからの未来—語り合おう、埼玉で！」と題して、埼玉県川越市で開催されます。

来年はなんと長野県で開催予定です！すでに少しずつ動き出していますが、みなさんのご協力をどうぞよろしくお願いいたします！

編集後記

ばばな農園さんの野菜収穫作業は、9 事業所が参加して行われたそうです。違う事業所に通うご利用者たちが、「ひさしぶり〜」と嬉しそうに会話をするのが良かった、と伊南桜木園の中村さんがおっしゃっていたのが印象的でした。